



根堀台だより

平成30年1月18日

第 91号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

みんなの声を聞いてみた

1月14日(日)の秋田さきがけ新聞の「さきがけこども新聞」に、県内の小中学生の「新年の抱負」が掲載されていました。「こんな自分になりたい」「こんな秋田になれば」「こんな日本になれば」の3つの視点で書かれたものですが、由利本荘市の子どもの抱負は、実は本校生徒が書いたものです。本当によく考えているなあと思いました。



- ◎私は勉強が嫌いです。でも今年は勉強を好きになって、もっともっと毎日を楽しみたい。(女子)
- ◎裏表のない自分。(男子)
- ◎去年は勉強を途中でやめて休憩し過ぎてしまうことが多く、成績が下がってしまった。この反省を生かしたい。勉強は将来の夢につながるので、休憩のし過ぎを直したい。(女子)
- ◎春には2年生になり、後輩も先輩もいる「中間的な立場」になる。新しいことをしっかり覚えて、後輩に伝えられるようにしたい。「いい先輩」「いい後輩」になりたい。(女子)



- ◎みんなが家族のように接し合える秋田。人が少なくて大変だからこそ、みんなが仲良くできるといい。(男子)
- ◎秋田では自ら命を絶つ人が多い。一人一人が自分のよい所に気付いて、楽しく過ごせる秋田県であってほしい。(男子)
- ◎人口が100万人台に戻り、でも昔ながらの雰囲気がある秋田。活気がありすぎると、きれいな空気が汚れてしまう。「あり過ぎず、なさ過ぎず」がいい。(男子)



- ◎一人一人が平等で、差別のない日本。日本では「女だから」「老人だから」と性別や年齢で差別されることがある。どんな人の意見も聞くべきだ。(女子)
- ◎今は何でもかんでも機械の力で進める時代。このままだと将来、人の仕事が減ってしまう。機械化にブレーキをかけてほしい。(女子)
- ◎差別やいじめがない日本。(男子)
- ◎去年は北朝鮮からのミサイル発射で何度か全国瞬時警報システム(Ｊアラート)が鳴り、ミサイルが落ちるのではないかと、とても不安だった。もし戦争が起きたら、この平和は壊れてしまう。他国との争いが起きない日本、世界になってほしい。(女子)

今年初めの賞状伝達



1月15日（月）の朝、「冬休み明け集会」の前に、「賞状伝達」を行いました。今回は「数学検定」合格者12名と「秋田県児童生徒美術展」入賞者10名の表彰となりました。

数学検定では3級が「中学校3年程度」、準2級は「高校1年程度」となります。高校入試を目前に控えた3年生にとっては「腕試し」となったことでしょうか。これからの1・2年生の積極的な挑戦に期待しています。

【数学検定】

◎「計算技能検定合格者」

・ 準2級合格者	3 A	〇〇	〇〇				
・ 3級合格者	3 A	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
		〇〇〇〇〇		〇〇	〇〇		

◎「数学検定合格者」

・ 3級合格者	3 A	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇〇〇〇	
		〇〇	〇〇				
・ 4級合格者	2 A	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇		

【秋田県児童生徒美術展】

・ 話題作	2 A	〇〇	〇〇				
・ 優良賞	2 A	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇		
	1 A	〇〇〇〇〇		〇〇	〇〇		
・ 佳作	3 A	〇〇	〇〇				
	2 A	〇〇	〇〇				
	1 A	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

カモシカ注意報！

1月17日（水）の朝の登校時、本校のグラウンドにカモシカが出現しました。カモシカが周辺の様子を伺いながらBG側に降りていきそうだったので、職員で手分けをして要所について見守りながら、生徒に近づかせないようにしました。年明けころからサッカー場にカモシカの足跡があり、おそらく学校の裏山に潜伏していたのだと思います。

昨年5月にも「北日本工業」周辺でカモシカが発見されており、「校報17号」でも注意喚起を行いました。対処方法は「そのまま見守ること」、「必要以上に近寄らないこと」、「カモシカを興奮させたり、必要以上に騒ぎたてたりしないこと」です。大声を上げるとパニックを起こして突進してくる場合があります。また、「逃げ道をふさがないこと」も大切です。特に、カモシカの「正面に立つ」のは危険です。「静かにその場を立ち去ること」です。

しかし、最近の野生動物には「人慣れした個体」があり、大きな被害を引き起こす場合があります。人を見慣れているカモシカは人を見ても逃げず、逆に頭突きや小刻みにダッシュなどの威嚇行動を取って前進してくる場合があります。近い距離で遭遇した場合は、絶対にカモシカの目を見てはいけません。もし、見つめ合った状態で人間側から視線をそらしたり、背中を向けたりすると、カモシカは攻撃を仕掛けてくるそうです。

今後学校周辺を見回り、出現時は職員を配置するなど、生徒の安全確保に努めて参ります。